

## セーフティー教室意見交換会 報告書

令和5年5月13日(土) 昭島警察署 生活安全課 少年係の方からお話を伺い、意見交換、質疑応答を行いました。

### 1. 中神小学校の安全指導の取り組み

- ・セーフティー教室等で、ゲストティーチャーを招き、お話を聞く。
- ・登下校やSNSの起こりうる危険性を伝え、知識を身につけ、どうすれば犯罪を予防できるか考え、力をつけていけるよう指導している。

#### 【3つの柱】

- ① 生活安全…学校内での事故防止（廊下を走らない、傘の扱い等）
- ② 交通安全…時期に合わせ、事故の起きやすい状況を想定する  
（道路の歩き方、信号の渡り方、飛び出し、長期休み前後の意識指導）
- ③ 災害安全…月1回の避難訓練で頭を守る事や避難の仕方指導、引き渡し訓練  
職員が行う防犯訓練（ナイフを持った人を想定等）

### 2. 警察の方からのお話

犯行を起こす子どものパターンとして、「家庭内で寂しい思いをした」「自分に関心を持ってもらえないと感じた」が出発点であることが多い。

- ① 子どもの話を聞く、顔色やシグナルに気付くことが重要。  
共働きやひとり親等、お忙しいと思うが、ぜひ、学校から帰ってきたら話を聞く機会を設けて欲しい。
- ② 夜出歩かないようにするのが一番の予防法。  
「東京都青少年の健全な育成に関する条例」で「深夜（午後11時から翌日午前4時までの時間をいう）に青少年（18歳未満）を外出させないように努めなければならない。」とあるように、23時～4時は外出をさせないようにして欲しい。
- ③ 子どもの持ち物を把握することが、万引き予防。  
現在までに、昭島市内の5校の小学校で、小学校低学年による万引きが発生している。子どもが見慣れないものを持っていたら「これ、どうしたの？もらったならお礼を言わなければならないから教えて？」と聞いてみて欲しい。お友達に借りた物の可能性もあるので、親同士の連携が大切。
- ④ 小学校で撮った写真や他の子が写り込んだ写真をSNSに載せることは危険。  
写真を見て標的にされる、特定される可能性がある。
- ⑤ 薬物について、好奇心で手を出してしまうので、薬物は怖いもの、一度もやってはいけないことを伝えることが大切。

### 3. 質疑応答

Q1. ハッピーの時間、校庭で動画を撮る在校生（高学年）を見かける。我が子や関係のない子が映っていないか心配。指導員が把握しているか不安。

A1. (副校長先生)

学校としても把握していない事案だったので、指導員と共有し、危機管理に努めます。

Q2. 通学路での路駐が多く心配。

A2. (警察の方)

匿名で構わないので110番通報して取り締まりをするよう伝えてください。

Q3. 午前7時頃に我が家へ遊びに来るお友達がいるが、親御さんが把握しているか心配。

A3. (警察の方)

親御さんに確認が取れるようでしたら「我が家に遊びに来ている」と連絡してください。  
外に遊びに行く前に、帰る時間、行く場所をお子さんが親御さんに伝えることが大切。

Q4. 親不在時に友達と家で遊ばないように子どもに指導しているが、正しいのか、子どもが大きくなってきたので不在時でも可にするか悩む。

A4. (警察の方)

親が不在の時はお家で遊ばないようにした方が良い。不在時に窃盗、器物破損の状況になる可能性もある。